



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらこぼと

2007.11

No. 283

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



サングイのトリと鳥

石光 彰 (所沢市)

「サングイのトリ」とは、つまり「酒」です。「鳥は判りませんが、サングイのトリなら少々自信が…」と公言してきた“呑兵衛鳥見人”の1人として、鳥と酒との関係を酔態系的?に(=酔った勢いで)考察してみました。

日本で記録されている鳥は568種(『日本鳥類目録』改訂第6版・外来種を含む)とされています。これに対し日本酒・焼酎の銘柄は約2400。(講談社刊『日本の名酒事典』他による)。この2400銘柄のうち、名前に鳥がついている銘柄を洗い出してみました。120銘柄ありました。

◇ 1位は鶴

圧倒的に多いのは鶴です。日本酒69、焼酎7銘柄が、鶴を名前に入れています。

「白鶴、沢の鶴(兵庫)」 「賀茂鶴(広島)」 「ア張鶴(新潟)」 「土佐鶴(高知)」等、左党の方ならすぐ思い浮かぶ全国銘柄が揃っております。

地域的にも、北海道の「千歳鶴」から沖縄の「宮の鶴」(焼酎)まで、列島を広くカバーしています。

首都圏にも鶴がいました。茨城「日乃出鶴」、埼玉「武蔵鶴」、千葉「飛鶴」、東京「千代鶴」です。栃木には「仙禽」という鶴の別称を冠した酒があります。仙禽とは、仙界に棲む尊い鳥



鶴：タンチョウ (松村禎夫)

の意味です。

「千代鶴」の蔵元はあきる野市にあります。酒名は昔、蔵のある秋川に鶴が飛来したことにちなんでつけられたそうです。かつて鶴は人の近くにおいて瑞鳥として尊ばれていました。酒も元々冠婚葬祭など「ハレ」の時の飲み物ですから、縁起の良い鶴が酒名に取り入れられたのだと考えられます。

鶴の種類は恐らくタンチョウでしょう。広辞苑にも「タンチョウを単にツルともいう」とあります。

◇ 「鶴の里」が金賞

拙稿を練っている最中、嬉しいニュースが入ってきました。石川県の「菊姫 鶴の里」という酒が、I. W. C. 2007の日本酒・純米酒部門で金賞を受賞したというのです。I. W. C. (インターナショナル・ワインチャレンジ) は、毎年ロンドンで開かれている世界最大規模の権威あるワインコンテストで、新設のSAKE部門の金賞第一号だそうです。

「菊姫」は銘酒としてつとに知られており、金賞受賞も肯めますが「鶴の里」という名前がニクイです。「菊姫」の蔵元は石川県白山市の鶴来新町にあります。地名になっているくらいですから、昔は鶴が普通に飛来する里だったのでしょうか。石川県には「朱鷺(トキ)の里」という酒もあります。

兵庫県豊岡で「コウノトリの里」が着々と蘇えりつつあって注目されています。酒ではなく現実の「ツルの里」「トキの里」が復活する日が来て欲しいものです。

◇ 与謝野晶子の「春鶯囀」

「鶴」の酒のない県もあります。北から岩手、福島、群馬、神奈川、山梨、静岡、滋賀、鳥取、徳島、熊本、宮崎の各県です。この 11

県に共通する理由は…判りません?!

岩手には、「浜千鳥」という可愛い名
の酒があります(飲めば間違いなく千鳥足にな
る?)。「鶯の尾」というユニークな銘柄も岩
手の酒です。

山梨には「春鶯囀(しゅんのうてん)という
粋な名の酒があります。さらりとした飲み口
で人気の銘酒です。名付け親は蔵元一家と親
交があった歌人・与謝野晶子。流石のネーミ
ングです。

◇ 鷹も人気

鶴の次に多いのは鷹ですが、数はぐっと減
って12銘柄です。「白鷹(兵庫)」「瑞鷹(熊本)」
等が知られていますが、さいたま市指扇に「都
鷹」がありました! 県民としては是非一度飲
んでおきましょう。

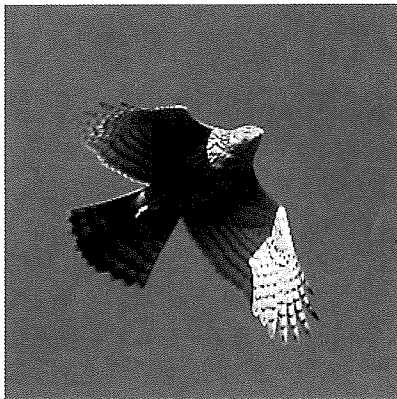
山形に「朝日鷹」という酒があります。有名
銘柄ではありませんが、「十四代」という幻の
銘酒と同じ蔵元の酒、と聞けば飲んでみた
くなりませんか?

3位は鳳で9銘柄ありますが、この鳥は種
のイメージが明確でないので割愛。

4位は鶯ですが、わずか3銘柄。先述の「春
鶯囀」のほか「初鶯(長野)」、「庭のうぐいす(福
岡)」です。どちらもウグイスらしい優しい名
です。

◇ 絶滅危惧種も…

ここまで紹介した以外に酒名に登場する鳥
は、次のとおりです。



鷹：オオタカ(町田好一郎)



白鷺：アマサギ(又部綱仁)

- ・鳩…「鳩正宗(青森)」「華鳩(広島)」
- ・雀…「雪雀(愛媛)」「銀座のすずめ(大分・焼
酎)」
- ・鳥…「明ヶ鳥(青森)」「やたがらす(奈良・神
話の鳥です)」
- ・雁…「越の白雁(新潟)」
- ・白鳥…「越の白鳥(新潟)」
- ・白鷺…「白鷺の城(兵庫)」
- ・鶺鴒…「鶺鴒舞酒(岐阜)」

最後に絶滅危惧
種を紹介しましょう。
ヤンバルクイナです。
ずばり「山原くいな」
という泡盛が沖縄に
あります。本物のヤ
ンバルクイナととも
に守り抜きたいもの
です。右がその固有
の希少シユです。



写真提供：「地酒横町(沖縄・那覇)」

◇ 終わりに

こうして考察してみると、サンズイのトリ
も鳥に負けず劣らず奥が深いと思われませ
んか? これからも両者と仲良く付き合いた
いと願っております。

駄作を一首…

「鳥を見て心なごみしその夜は
ゆたかに酌もうサンズイのトリ」

「農家と野鳥の会の交流イベントー米作り体験」

締めくくりの稲刈りは 幸運に恵まれました

海老原美夫(さいたま市)

本誌 2007 年 6 月号(第 278 号)で田植えについてご報告した米作り体験、同 8 月号(第 280 号)にある通り草取りは中止になって、9 月 2 日(日)最後の作業、稲刈りが行われました。

●日取り決定に一苦労

昨年は、9 月第 2 週がこの地区の稲刈りの最盛期でした。ところが、今年の夏は気温が高い日が続いた影響で、稲の生長が早めに進みました。主催農家、高野博明さんの見るところでは、第 2 週では遅すぎるのではないかとのこと。9 月第 1 日曜日といえは 2 日。いろいろ日程をつき合わせ、連日の猛暑も考えて、では、少しでも涼しくなる午後 3 時から始めましょう、と話がまとまりました。

ところが、9 月 2 日(日)は、まさに支部のリーダー研修会の日。藤掛支部長をはじめ、何人かは一日出席しなければならないのです。こちらでもいろいろ調整して、私を含む 3 名が昼までリーダー研修会に出席、その後稲刈りに駆け付けることになりました。

●稲刈り用の鎌は「のこぎり鎌」

「その日は旅行中～」とか、日程が合わなかった人たちの残念メールが何本か入り、結局集まったのは 5 家族 6 人。少数精鋭で稲刈り開始。「のこぎり鎌」という鎌は、歯がぎざぎざで、柄と刃物の角度が鈍角に開いています。それが稲刈りに最適で、実によく切れます。左手で稲の根元を一掴みして、のこぎり鎌で一気にザクッ。もしかしたら、私には稲刈りの才能が眠っていたのかもしれない!! 実に気持ちがいいのです。

●シロハラクイナのために少し刈り残し

「農家と野鳥の会の交流イベントー米作り体験農場」の看板の下あたりをシロハラクイナのために少し刈り残して、あとは機械刈りに任せ、麦茶や高野家のかき餅、おにぎりを食べて一休み。重労働?の後の野良でのいっぷくを楽しみました。

●なんと 5 日後に台風襲来

5 日後の 7 日(金)には台風 9 号が襲来して、



神子田は最大 3 m の深さまで冠水しました。間に合わなかった農家の方々には大変お気の毒でしたが、私たちの稲刈りは、間一髪の差で幸運に恵まれました。台風通過後の 12 日(水)、シロハラクイナが、刈り残した稲を食べている姿が観察されました。参加者宅には、脱穀・乾燥したての低農薬特別栽培の新米が、届きました。今年初めての米作り体験は、無事終了しました。

●シロハラクイナは 2 年連続繁殖

今年は 4 羽の雛が生まれました。稲刈り後は高野氏のご協力で体験田に水を入れ、「秋水田んぼ」が野鳥にどのような影響及ぼすか、観察を続けます。

神子田米のご紹介

シロハラクイナを育む神子田の新米を味わってみたい方、

低農薬特別栽培米 コシヒカリ 5 kg 3,250 円 + 梱包費送料(県内)950 円 = 4,200 円

一般米 コシヒカリ 5 kg 2,500 円 + 梱包費送料(県内)950 円 = 3,450 円

ともに消費税込み。どちらのお米をご希望か、送り先の住所・氏名・電話番号を明記して、FAX (高野博明)にお申し込みください。代金の送り先(銀行振込)を記載した請求書同封で届きます。



野鳥情報

蓮田市笹山 ◇6月1日、アマサギ、コサギ、ゴイサギ、アオサギ。一面黄緑色の田んぼにサギが4種いた(本多己秀)。

蓮田市蓮田 ◇6月13日午前6時30分と10時に裏の庭木でカッコウが鳴いた。例年より遅い? 6月30日午後11時と12時にアオバズクの声。7月1日、庭のネズミモチの木で「チーチーチー」と声がするので、見るとヒヨドリの親鳥が幼鳥に給餌中だった。7月21日、住宅地で「ケッ、ケッ、ケッ」の後「ピョーピョー」の音が、アオゲラが木から木へ(家から家へ)移動していった。今頃いるなんて(本多己秀)。

松伏町緑の丘公園 ◇6月4日、池にオシドリ♀1羽、2日ほど滞在していなくなった。小さいトンボ池にバンの親子。6月25日、できたばかりの管理棟の天井にツバメの巣4個、ヒナがいっぱい。管理棟の近くの地面にコチドリのヒナが親鳥についてちょこまか歩いていた。まだ草が生えていない盛り土の所で、コアジサシのヒナに親鳥が餌を与えていた。他にじっとしているコチドリ4羽。池ではカイツブリのヒナ4羽が親の後ろを泳いでいて、そのうち2羽が親の背中によじ登った。思わずかわいっ! 6月27日、カルガモの親子、子ガモ10羽。あちこちにモズの幼鳥。(佐藤宏)。

松伏町大川戸 ◇6月9日と6月27日、アオバズク1羽。2、3日おきに見ているが、いつも同じ枝に同じような格好でとまっていた(佐藤宏)。

さいたま市桜区大久保農耕地 ◇6月11日、今年もシロハラクイナが繁殖行動を始めているアシ原から数100m離れた別のアシ原2カ所で、シロハラクイナの声。ヒクイナ数年ぶりに複数。ヨシゴイも多い(海老原美夫)。

さいたま市見沼区大和田町 ◇6月13日、県立大宮商業高校の昇降口階段下に数年ぶり

にツバメが巣をかけていたが、この日カラスに襲われ、巣が壊された。ヒナ2羽は持ち去られ、残りの2羽はダメだった。カラスの増加はやはり良くない(鈴木紀雄)。

さいたま市緑区埼玉スタジアム2002調整池

◇7月5日、親の半分以下の大きさのヒナ(若鳥)3羽を連れたカルガモ成鳥1羽。コチドリ5羽+。バンが直径50~60cmの離れ小島のようなガマの中にいた。ヨシゴイが丸見えの浅瀬で擬態していた。7月10日、コチドリ約15羽、イカルチドリ1羽。やっぱり大きさが違う! 7月11日、オオヨシキリ成鳥1羽幼鳥3羽。ホオジロの幼鳥、コチドリ10羽+、イカルチドリ1羽、クサシギ2羽。反対側に回り込んでみたら、なんとセイタカシギ成鳥1羽幼鳥3羽、どこで生まれ育ったのか。私を見て親鳥が「ケッケッ」と警戒の声。でも親の近くに飛んで戻ったのは1羽のみ。7月19日、セイタカシギ成鳥1羽幼鳥2羽、クサシギ1羽。7月20日、セイタカシギ見つからず。ヨシゴイ1羽がゆうゆうと飛んでいた。7月26日、セイタカシギ成鳥1羽幼鳥3羽。結局全員集合していた。よく見たら成鳥は黄色の足輪をつけていた。7月29日、セイタカシギ成鳥1羽幼鳥2羽、イカルチドリ1羽。7月30日、セイタカシギ成鳥1羽幼鳥2羽。上空を羽がぼろぼろの猛禽飛ぶ。逆光で角度が悪く、種の同定が困難だったが、サンバに思えた。8月3日、セイタカシギ幼鳥2羽、ヨシゴイ、クサシギ5羽、バンなど(鈴木紀雄)。◇7月18、19日正午頃、調整池北側の岸辺にセイタカシギ4羽、きれいでした。レッズも強くなりましたが、池も5年経って少しずつ鳥が見られます。観戦前にどうぞ。ちなみにカワセミ、バン、カルガモ、ゴイサギ、カイツブリもいました(楠見邦博)。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇7月13日、シジュウカラ幼鳥を含む5~6羽の群れの中にチョコマカ動くムシクイ類確認。センダイムシクイと思われたが確定できず。もう渡りが始まっているのか(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区南平野 ◇7月22日、電線に約30羽の鳥、20羽+がコムドリで、残りがムドリ。やはりコムドリの方が断然かわいい顔をしている。7月25日、岩槻橋の上を上流に飛ぶウミネコ1羽を見る。この季節に見るのは初めて(鈴木紀雄)。

さいたま市見沼区膝子 ◇7月20日、田んぼの中の道を車で走行中、左側の休耕田の草中に鳥影発見。ジシギかと思ったら、なんとタマシギ♂1羽♀1羽! 道からわずか1m。7月21日、同所の草の中にタマシギ♂1羽。7月22日、草が特に茂っている中に座っているタマシギ♂1羽がかろうじて見える。道から2mほど。7月23日、休耕田の奥の方でタマシギ♀1羽。7月26日、同所でタマシギ♂1羽。7月29日、同所でタマシギ♂1羽。近くの休耕田でクサシギ1羽。8月3日と8月7日に同所でタマシギ♂1羽を確認したが、8月14日に行ったときには全く姿がなかった。ヒナが生まれて草の中で子育てしてくれていると信じるしかない(鈴木紀雄)。

桶川市下日出谷 ◇6月14日午前5時35分、いつものウォーキング中、農家上空を「キョッキョッキョッキョ」と囀りながら北へ飛んで行った。当地ホトトギス初見(立岩恒久)。

蓮田市黒浜 ◇7月8日夕方、上沼上空を飛び回るツバメ40~50羽を見ていたら、飛び方の異なる個体1羽。羽ばたきがより小刻みで、よりスマート。腰は白く、下面は黒っぽい。ここでは初めて見るヒメアマツバメだった。ツバメに追いかけられたりしながらもずっと上空を飛び回っていた。7月13日、電線にとまるムドリ約10羽の群の中にコムドリ1羽。7月17日、電線にとまるムドリ約30羽の群の中にコムドリ♂3羽♀2羽(鈴木紀雄)。

上尾市井戸木2丁目 ◇7月31日午前6時17分、ウォーキング中、霧雨そぼ降るなか、カッコウがさえずりながら飛翔した(立岩恒久)。

本庄市利根川 ◇6月10日~11日、上武大橋下流500m付近右岸(深谷側)でオウチュウ。



ヨタカ 10月4日 北本自然観察公園で
(松村禎夫)

鳥仲間のSさんから連絡を受け、早速出かけた。10日はアカシヤの木にとまり、飛んでいる昆虫を捕まえていた。11日は枯れ木にとまって囀っていた(堀越省一)。

狭山市 ◇7月11日、オオタカ1羽(久保田忠資)。

野鳥情報の取り扱いについて

こんな鳥見たよ! こんな事してたよ! 今年も飛んで来たよ! ちょっとみんなに伝えたい野鳥の話、季節感のある情報、見慣れた鳥のちょっと面白い行動、この場所では、この季節ではあまり見かけないかな...など、様々な情報をお待ちしています。

ただし、公開することによって野鳥の生息に影響を与える危険性のある情報、巣や卵に関する詳しい情報、明らかに誤りである情報、同定には慎重な観察を要する稀な鳥なのに、写真などの客観的な裏づけ、または読んだ人が納得できるような記述のない情報、などは掲載しません。

同じ人から多数の情報が寄せられた場合や、同じ鳥について多数の情報が重複した場合など、全部は掲載せず、取捨選択させていただく場合もあります。
(編集部)

表紙の写真

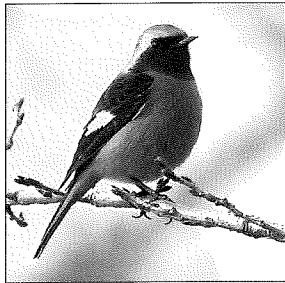
スズメ目ツグミ科ノゴマ属ノゴマ

昨年の10月29日。アシ原から、あたりを警戒しながら、憧れの鳥が出てきました。

大澤 祐(深谷市)



行事案内



ジョウビタキ(久保田忠資)

上尾市・丸山公園探鳥会

期日：11月4日(日)

集合：午前8時、丸山公園北口駐車場。

交通：JR高崎線上尾駅西口1番バス乗り場から、西上尾車庫行き(畔吉経由)7:32発で「畔吉」下車、徒歩約8分。

担当：大坂、浅見、阿久沢(キ)、阿久沢(廣)、立岩、永野(安)、永野(京)、山野、長谷川

見どころ：晩秋を迎えた公園の彩り豊かな紅葉でリフレッシュ。カワセミはもちろん、ジョウビタキなどの冬鳥を探します。河川敷ではオオタカも期待。

志木市・柳瀬川探鳥会

期日：11月4日(日)

集合：午前9時、東武東上線柳瀬川駅東口。

担当：持丸、佐久間、高草木、神場、中村(治)、中村(祐)、荒木、山田(義)、杉原、原、藤澤、山口、志村

見どころ：柳瀬川の秋景色、冬の鳥たちで賑わいます。カモ類、セキレイ類、シギ・チドリの仲間、ツグミ、ジョウビタキなどを探しながら土手を歩きます。オシドリやタグリにも会いたいね！

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：11月11日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章した担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生50円、一般100円。持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も(なくても大丈夫)。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

交通：秩父鉄道熊谷9:09発、または寄居8:49発に乗車。

担当：後藤、和田、森本、中里、大澤、倉崎、島田、高橋(ふ)、藤田(裕)、栗原、飛田、新井(巖)、千島、鶴飼

見どころ：大麻生のベストシーズンがやって来ました。コハクチョウや数種類のカモたちも元気に渡来しています。みなさんと一緒に迎えましょう。

栃木県・奥日光探鳥会(要予約)

期日：11月17日(土)

集合：午前7時、JR大宮駅西口ソニックホール前広場。

交通：往復とも貸し切りバスを利用。

帰着：当日午後7時ごろを予定。

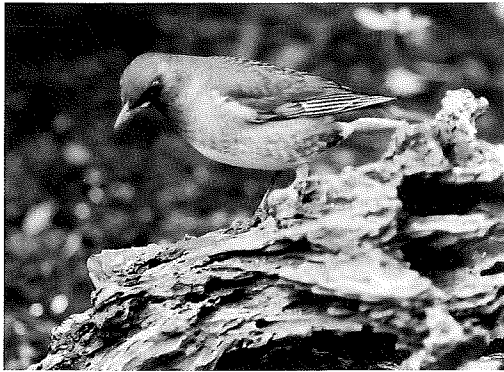
費用：5500円の予定(バス代、高速料、保険料など)。過不足の場合は当日精算。

定員：30名(先着順、県支部会員優先)、最少催行人数は25名。

申し込み：往復はがきに住所、氏名、年齢(保険加入で必要)、電話番号を明記して、玉井正晴()まで。

担当：玉井、入山、藤澤、星

見どころ：初冬の奥日光、湯の湖畔・湯滝周辺・西ノ湖・千手ヶ浜周辺を歩きます。埼玉では見られない鳥たちにもたくさん会えます。雨具、防寒具は必携。



シロハラ(島田沙織里)

『しらこぼと』袋づめの会

期日：11月17日(土)
時間：午後3時～4時ころ
会場：支部事務局108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：11月18日(日)
集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
後援：さいたま市立浦和博物館
担当：楠見、福井、倉林、渡辺(周)、若林、小菅、赤堀、新部、青木、増田、宇野沢、須崎
見どころ：鳥を見るフィールドを持っている人は幸せ、といつも思います。見沼田んぼはいろいろな人のフィールドです。そして、そこを歩く探鳥会には、人と人とのつながりがあります。冬鳥のシーズンも、三室で楽しみましょう。

嵐山町・菅谷館都幾川探鳥会

期日：11月18日(日)
集合：午前8時40分、東武東上線武蔵嵐山駅西口。または午前9時10分、県立嵐山史跡の博物館駐車場。
交通：川越8:03発、または寄居8:12発。
担当：後藤、喜多、大澤、青山、新井(巖)、中村(豊)、林、千島
見どころ：地球温暖化と言われても、ここ嵐山に、冬鳥たちは季節を忘れずに来ています。皆で一緒に探しましょう。

さいたま市・見沼自然公園探鳥会

期日：11月23日(祝・金)
集合：午前8時15分 JR大宮駅東口「こりすのトトちゃん」像前。または午前9時15分、見沼自然公園駐車場。
担当：工藤、浅見、兼元、松村、新井(勇)、赤堀、金子、舟木
見どころ：ここ見沼田んぼにも晩秋の静けさが訪れています。田んぼ、斜面林、公園の池に、冬鳥がやっています。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：11月23日(祝・金)
集合：午前9時15分、アスレチック公園前駐車場。
交通：東武伊勢崎線春日部駅西口朝日バス③番から、国民年金春日部エミナス行き8:41発で「共栄大学・短大前」下車。西へ徒歩3分。
担当：石川、吉安、橋口、新井(良)、宮下、吉岡(明)、野村(弘)、野村(修)
見どころ：行く秋に落ち葉が舞い、木々の梢に見えるシルエットは？ 藪や雑木林の中から聞こえてくるささやきは？ ツグミ、アカハラ、シメ、ヤマガラ、カケス、タヒバリなどとの再会が楽しみです。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：11月24日(土)
集合：午前8時40分、JR宇都宮線蓮田駅東口バス停前
担当：玉井、吉安、田中、長嶋、長野、菱沼(一)、榎本(建)、青木、鬼塚
見どころ：冬間近の農村風景のなか、北国や山からの小鳥たちとの再会を期待します。水辺、アシ原、梢に鳥たちが勢揃いしています。昨年のように珍客が姿を見せてくれれば、ラッキー！

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：11月25日(日)
集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

交通：西武新宿線本川越 8:43 発、所沢 8:36 発に乗車

担当：長谷部、藤掛、高草木、中村(祐)、山本(真)、久保田、石光、山田(義)、山口、星

見どころ：ジョウビタキやツグミ、ビンズイは？ 今年の冬の鳥たちを確認しましょう。稲荷山公園の紅葉も楽しみそうです。

さいたま市・秋ヶ瀬公園自然観察会

期日：11月25日(日)

集合：午前9時、秋ヶ瀬公園ピクニックの森駐車場。

交通：浦和駅西口から荒川運動公園行きバス 8:17 発、または東武東上線志木駅東口から、与野駅西口行きバス 8:25 発で、「下大久保」下車、徒歩約8分。

担当：小荷田、佐久間、杉原、藤田(敏)、見どころ：今回のテーマは「ラインセンサスー鳥の数の調べ方」。「ある地域に何の鳥が何羽いるのか」を知るための基本的な調査方法がラインセンサス。一定のコースを定め、のんびり歩きながら、一定の範囲内で見える鳥を数えるだけ。鳥見人なら誰でもできます。鳥の数が分ると、楽しいですよ。

本庄市・坂東大橋探鳥会

期日：11月25日(日)

集合：午前9時30分「つきみ荘」北側。

「つきみ荘」内には駐車できません。

交通：JR高崎線本庄駅北口から、国際十王バス 9:20 発伊勢崎行きで、「坂東大橋南詰」下車。

担当：新井(巖)、倉崎、鵜飼、小池(一)、小池(順)、藤田(裕)、小淵、北川、岡田

見どころ：冬の坂東大橋といえばやはりカモ。ミコアイサ、カワアイサ、ホオジロガモもでてくれるかな？ 冬の小鳥や猛禽類との出会いもお楽しみに。

注意：河原を歩きますので足揃えはしっかりと。仮設のトイレはありますが、駅などで済ませておきましょう。

駅前団地のカッコウ

田中幸男(蓮田市)

カッコウは、特徴的な囀り、特異な子孫継承方法などから、鳥に興味がない人でも誰もが知っている鳥ではないでしょうか。また私は、山や高原に行かなければ会えない鳥であるとも思っていました。そのカッコウが地元の蓮田(黒浜沼)にいた！ 高い梢にとまる姿に感激し、囀りながら飛ぶ姿に驚いたのは、鳥を見はじめて間もないときでした。

その黒浜沼でカッコウの確認がされなくなって間もない頃のことです。距離にして約2km離れた私の住まいの団地(蓮田駅前)で声を聞き、ときどき姿も見られるようになりました。2度目の感激と驚きでした。

年々その範囲は周辺に広がり、最近では身近な夏鳥になった感さえあります。ご近所の人たちから「今年はまだかね」「今年もきてくれたね」などと声をかけていただくほどにもなりました。環境的には市街地ですが、駅周辺は団地を含め公園などにまだ緑が残っていて、多くの鳥が観察できます。そのなかにオナガも数多くおり、営巣もしています。カッコウがその托卵先に選んだのでしょうか？ 原因は定かではありません。

そんなカッコウの記録をつけてみたら、下記の通りになりました。

今年はここ数年に比べ、囀りが少ない感じでしたが、それが数値的にも現れていました。何か変化があるのでしょうか？

友人Y氏の観察でも、春日部の市街地でも近年カッコウが記録されています。みなさんのお住まいではいかがですか？

年	05	06	07
滞留日数(日) (初認日～終認日)	75	84	67
出現日数(日)	46	53	32
出現率(%)	61	63	48



行事報告

4月15日(日) 所沢市 狭山湖

参加: 31名 天気: 晴

カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガモ コガモ トビ キジバト コゲラ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ ノビタキ シロハラ ツグミ ウグイス エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシブトガラス (29種) この時期は水鳥に多くを期待出来ないで、いつものコースに菩提樹(ぼだいぎ)池を加え、林地を中心に歩いた。スタート直後、ノビタキが出現。渡りの時期ならではの出会いに盛り上がる。新緑を吹き抜ける爽やかな風を肌を感じ、カラ類やメジロの元気な囀りを耳にして気分は上々。湖にはカンムリカイツブリ2羽がかるうじて残っていてくれて、今季納めの探鳥会を締めてくれた。(石光 章)

4月21日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 10名

新井浩、池田泰右、海老原教子、大坂幸男、佐久間博文、志村佐治、長野誠治、藤掛保司、松村禎夫、山口芳邦

4月22日(木) 東松山市 物見山

参加: 55名 天候: 晴

カワウ トビ オオタカ ノスリ コジュケイ キジ キジバト カワセミ コゲラ ツバメ ヒヨドリ モズ シロハラ ヤブサメ ウグイス オオルリ エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (27種) チゴユリ、ツツジ、八重桜を見ながらの森林浴だった。ヤブサメの声はすれども、姿は見えなかったが、今回のハイライトは、何といてもオオルリのみが出現し、道先案内をしてくれたことだ。初めて参加の渡辺さんは、多くの野鳥が見られて、大喜びだった。コース途中の滑りやすい所は避けて迂回し、物見山頂上では、色鮮やかなツツジの

花を觀賞しながら、鳥合わせをした。(藤掛保司)

4月27~29日(金~日) 東京都 三宅島

参加: 25名 天気: 晴

オオミズナギドリ アカアシミズナギドリ ハイイロミズナギドリ ハシボソミズナギドリ ウミウ ヒメウ ゴイサギ ササゴイ ダイサギ チュウサギ アオサギ ウミアイサ ミサゴ トビ ノスリ ハヤブサ コジュケイ キジ バン オオバン ムナグロ セグロカモメ ウミネコ ウミスズメ カラスバト キジバト アオバズク ヒメアマツバメ アマツバメ コゲラ ツバメ イワツバメ ビンズイ ヒヨドリ モズ ミソサザイ コマドリ イソヒヨドリ アカココウ ウグイス オオヨシキリ イイジマムシクイ キビタキ オオルリ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ アトリ カワラヒワ イカル スズメ コムクドリ ハシブトガラス (55種) 2000年の噴火以降行けなかった三宅島での探鳥会が、ガスマスクの携帯が義務付けられてはいるものの、7年ぶりに実施できた。民宿新鼻荘を貸切りの25名。仲良く元気に、楽しい探鳥会だった。三宅島では、目的のアカココウ・イイジマムシクイ・カラスバト・タネコマドリ・オーストン ヤマガラ・シチトウメジロ・ミヤケコゲラ・モスケミソサザイ等が見られ、海上ではオオミズナギドリが帯状に群れていた。おまけに、クジラ2頭の潮吹きや姿、イルカの姿、そしてトビウオが見られた。(藤掛保司)

4月29日(日) 春日部市 内牧公園

参加: 39名 天気: 晴れ

チュウサギ コサギ アオサギ カルガモ コジュケイ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ ツグミ ウグイス キビタキ シジュウカラ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (23種) 夏鳥はわずかに雑木林内でキビタキ雄1羽。水田ではチュウサギを確認したにとどまったが、今年はツグミの他に、シメ、カケスが未だ残留していた。快晴と新緑に恵まれ、多少汗ばむ陽気の中、いつもより、ゆっくり歩き Watching を楽しんだ。確認種数は例年と同じであった。(石川敏男)

4月29日(日) シギ・チドリ類調査

ボランティア:14名 天気:快晴

浅見徹、新井勇吉、石井智、大勝学、金井祐二、久保田忠資、小峯昇、佐久間博文、関口純夫、千島康幸、新部泰治、船木数樹、持丸順彰、山田泰廣 ●さいたま市桜区大久保農耕地で行われました。お疲れ様。

4月30日(月、休) さいたま市 秋ヶ瀬公園

参加:128名 天気:快晴

カワウ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ コジュケイ キジ コチドリ イソシギ コアジサシ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス オオヨシキリ セッカ シジュウカラ メジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) 朝から雲ひとつない上天気。気温も上がる。鴨川排水機場ではイタチのおでまし。以前いたキツネは居なくなるとEさんの話。公園に入ったが鳥の声はシジュウカラとヒヨドリばかり。目当ての鳥はとうとう出なかった。タヌキの獣道も見せてもらい、最終地点へ。128名の大移動は新記録。上天気には人は出るが、鳥は出ないのか? (倉林宗太郎)

5月5日(土、休) 千葉県習志野市 谷津干潟

参加:80名 天気:晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ バン オオバン メダイチドリ ダイゼン キョウジョシギ トウネン ハマシギ ミユビシギ アオアシシギ キアシシギ オオソリハシシギ チュウシャクシギ セイタカシギ カモメ コアジサシ キジバト ツバメ ヒヨドリ オオヨシキリ セッカ メジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシブトガラス (34種) 春の干潟の「シギ紅葉(もみじ)」を楽しんだ。終了後にはオバシギも出てくれた。一度に覚えようとする苦勞するので、思い出をつくるのが楽しむ秘訣! 心で受け止めたものは忘れない。(杉本秀樹)

5月6日(日) 蓮田市 黒浜沼

参加:22名 天気:曇後雨

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ カル

ガモ コガモ キジ バン コチドリ ムナグロ キョウジョシギ キアシシギ イソシギ コアジサシ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ ツグミ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ メジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 前日までの晴天が一転して曇天。予報は風雨。心配のスタートであったが、田んぼに入ると数羽のムナグロ、しばらくすると群れ、中にはキアシシギにキョウジョシギもいてくれた。コアジサシ、キジの姿もあちこちで…。どうにか5月の黒浜らしくなってくれた。途中は降ったり止んだり、最後はついに雨。参加者のみなさん、お疲れ様でした。(田中幸男)



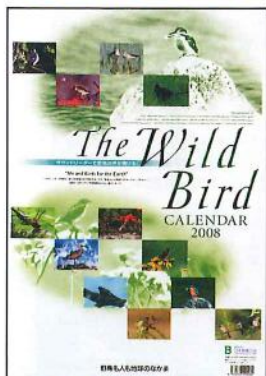
5月13日(日) 熊谷市 大麻生

参加:18名 天気:曇

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コジュケイ キジ イカルチドリ キジバト カワセミ アオゲラ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ ウグイス オオヨシキリ セッカ エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) 土手に出ると昔なつかしいスカンボが地面一杯に広がっていた。この時期毎年楽しみにしているニセアカシアの花はすでに盛りを過ぎていた。あちらこちらでキジの鳴き声が聞こえる。やがて麦畑のあぜの上でその優雅な姿を誇らしげに披露してくれた。河原ではカワセミが出て皆を楽しませてくれた。辺りではヒバリ・セッカ・オオヨシキリが賑やかにさえずっていた。野鳥の森で鳥合わせの最中、エナガが可愛い姿を見せてくれた。(中里裕一)



●野鳥の会カレンダー2008 発売



応募総数 620 点の中から選ばれた四季折々の野鳥たちの姿をお楽しみください。

定価 1,470 円、会員割引 1,250 円。年末に売り切れても、追加仕入れはしません。探鳥会などでお早めにお求めください。

●第 31 回関東ブロック協議会に出席

9 月 15 日(土)～16 日(日)青梅市内で開催された関東ブロック協議会(主催：奥多摩支部)に、藤掛保司支部長・海老原美夫副支部長・橋口長和普及部長・小荷田行男研究部長が出席、様々な意見を交換しました。

次期ブロック推薦理事：河地(栃木県支部)、評議員：橋口(埼玉県支部)・池野(茨城支部)、3 名とも留任することになりました。埼玉県支部として、具体的なマニュアルを含めて各支部合同のシラコバト調査を提案、来年夏から実施する方向で話し合われました。

●第 10 次鳥獣保護事業計画案に意見提出

県から示された案に対し、鳥獣保護区を更に拡大すること、キジ・ヤマドリ等の放鳥はできるだけ数を減らし、生態系への悪影響が出ないように慎重に取り扱うこと、捕獲等に関する市町村への権限委譲につき、カワウについては慎重な取り扱いをするとの案を維持すること、の 3 点について、意見書を提出しました。

●秋ヶ瀬野鳥クラブ第 3 回写真展

期間：11 月 23 日(金)～12 月 2 日(日)。

11 月 26 日(月)は休館日のため休み。

場所：さいたま市桜区プラザウエスト 1 階ギャラリー。(浦和駅西口から桜区役所行きバスで約 20 分、終点下車、すぐ。)

内容：秋ヶ瀬で見られる鳥たち、シロハラクイナ 2 年目の子育て、国内で撮影した珍鳥などを展示します。

●ごめんなさいコーナー

9 月号 9 ページ、松伏記念公園探鳥会の集合時間「午前 9 時 45 分」は「午前 8 時 45 分」の誤りでした。リーダーは手分けして両方の時間でお待ちしましたが、申し訳ありませんでした。

●事務局の予定

11 月 3 日(土) 編集部・普及部・研究部会議

11 月 10 日(土) 12 月号校正(午後 4 時から)。

11 月 17 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。

11 月 18 日(日) 役員会(午後 4 時から)。

●会員数は

10 月 1 日現在 2,247 人です。

活動報告

9 月 8 日(土) 10 月号校正(海老原美夫・喜多峻次・藤掛保司・山田義郎)。

9 月 16 日(日) 役員会(司会：青木正利、第 10 次鳥獣保護事業計画案に対する意見・関東ブロック協議会報告・その他)。

9 月 18 日(火)「支部報だけの会員」に向けて 10 月号を送付(海老原美夫)。

編集後記

虫のデジカメ撮影にはまっています。今までは夏はあまり野外に出ることもなかったのですが、今年は、虫が待っていると思うと、猛暑も厭わず、家人にはあきれられながら、よく出かけました。デジカメだと簡単にマクロが使えていいですね。ただ、昆虫モードしていると鳥が見えなくなるのには困りましたね。(藤原)

しらこぼと 2007 年 11 月号(第 283 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130
 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 http://35.tok2.com/wbsjsaitama/
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル
 (財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5436-2630 FAX 03-5436-2635
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生コート紙使用。印刷 関東図書株式会社